

新庁舎建設

国道との供用で変化対応を

住民サービス重視の方針で



おなが 小永 まさひろ 正裕 議員

は、国土交通省からは、平成27年度も事業を推進するとしか聞いてない。現在、用地取得事務は国土交通省が担当なので町では分らない。

問 バイパス道路供用と庁舎建設完成予定期日は何時か。

また、バイパス道路供用と庁舎移設後の街中の生業や地元住民の日常生活などには変化が現れるが、想定と対策を問う。

問 大方バイパス道路工事の進捗状況と今後の工事計画は。
また、土地相続の件で問題が出たとか、山間部などで難工事区間に行き当たるといようなケースを耳にするのが、今後の工事の進捗に懸念はあるか。

答 森田 まちづくり課長

平成27年3月末現在の事業進捗率は約69%。用地の進捗率は約87%になっている。今後の工事の進捗について

社会福祉協議会の建物があるまま残れば、一室を支所とし、窓口業務を継続する考えはないか。高齢化が急激に進むことは必定で、高齢者にとっても、印鑑証明など、必要な書類が要るとき、近くで平地であれば助かる。
また、早咲東端から下田の口の信号付近まで、大体30店舗近く小売店がある。新国

道バイパスは、逆S字型で、町並の外側を通過するようになり、交通インフラが極端に変われば、車の流れ、人の流れが一変する。地域の活性化のためにも旧道にある店舗が分かる案内板の設置など必要な措置を講ずるべきだ。遅ればせながら、佐賀にも設置すべきだ。

答 森田 まちづくり課長

平成29年11月には新庁舎が完成予定だが、国交省から大方改良道路との供用は、まだ示されていない。また、庁舎が高台へ移設するため交通の便で懸念を持っている。支所の件は、より良いものを考えたい。
旧国道にある既存の商店の案内板などにも配慮したい。

地域振興

プレミアム商品券の拡大を

売出し総額は
1億4千万円

問 地域振興の目的で、商工



今年度発売するプレミアム商品券

会が昨年まで10%のプレミアム付きで発行してきた商品券へのプレミアム補助率拡大に対応する考えはあるか。

答 門田 産業推進室長

本年度は、国のまち・ひと・しごと創生事業交付金を活用してプレミアム商品券を販売する。今回は、商品券をお買上げの方々から購入金額、商品券を利用した業種、目的、金額や商品などのアンケート

調査を行う。そして、どのような消費喚起効果を得たか、また、消費動向全般の分析と併せ、喚起した消費の実態を把握することになっている。

購入額の上限は、一人1万2500円で、小学生以上のご家族の分も一緒に購入できる。売出し総額は1億4260万円で、使用期限は12月31日まで。最初は町民の方を対象に販売するが、残れば町外の方へも販売する。